



TITLE:

問答欄

AUTHOR(S):

---

CITATION:

問答欄. 天界 1926, 6(67): 450-452

ISSUE DATE:

1926-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160565>

RIGHT:

# 問 答 欄

注意 質問と解答を募る  
原稿はすべて二十字詰横書に願ひます。(編輯部)

## 質問の部

(44) 第六十四號、長岡博士の御話の中(246頁12行目)に天文學大の問題である三體運動云々ありましたが三體運動とは如何なる事なのでせうか、御教へ下さい。(安田辰馬)

(45) 多くの星が或るものは地球へ近づく運動をし、或るものは遠ざかる運動をするのは地の引力のためでせうか、又は自動的に動くのでせうか?(土田)

(46) 地球の自轉するのは何のために致すので御座いますでしょうか?(土田)

(47) 前略、先日御送り下さった簡易星圖の見方を忘却致しましたが、御教へ下さいませんか?(YO)

(48) 天體の運動力學の平易精細な解説書適當なるもの之れあり候はゞ著者發行所等御教示相成りたく候(茨城縣筑波郡谷井田村大字上平柳、川上政次方、私立天文學革命會)

(49) 反射望遠鏡で、小鏡に平面鏡を用ひる代りに、普通眼鏡用レンズの上等のものに鍍金して凸鏡又は凹鏡を造り、それを用ひてグレコリー又はカツシグレー式に造つたら安價に且つ手軽に出来得るやうに思はれますが如何でせう。(TS)

(50) 四月號によりますと、五センチ鏡が二三十圓で求め得るこの事でしたが、其の販賣所をお知らせ下さい。それから其の試験星も参考迄にお知らせ下さい。又火星のローラーキャップなどが観えますかどうか?(TS)

## 解答の部

(42) 佛國に於ける製作所は可なり澤山あります。名高い古い店では、

Secretan 151, Boulevard Auguste-Blanqui,  
151 Paris (XIII<sup>e</sup>)

20センチまで各種のものが作られて居ります主として素人用のみで多年好評です。

G. Prin. 56, Boulevard Arago, 56,  
Paris (XIII<sup>e</sup>)

ゴーチエー社の後身で10センチまで作られ獨逸式の器械です、此の會社は寧ろ子午儀子午環等の精密器械を得意とします。此れ以外Bardon も有名です、寫眞レンズで知られて

居るクラウスのものが現在東京の淺沼寫眞店に来て居るこの事です、佛のものは故ヘンリー兄弟の大口徑鏡の外良好なものはないといふ批評を聞いた事があります。自分も可なり多數佛國のものを見ましたが此の批評ほどではありません。悪いとは言ひませんが英米の一流のものと比較すれば劣ります。(中村要)

## 事務室より

本會の負債整理も會員諸氏の熱心なる御同情によつて別表の如く寄附金が集まりましたことを御禮申します。

創立以來——今日(五月末日)迄の未拂金が合計¥ 2762.66 ありますが未收會費、廣告料及寄附金等を差引くと殘額¥878.76 の債務を負ふて居る事になります。これだけは是非皆さんの御寄附によつて他に返済の方法はありません。どうか愛する會の將來の爲切に諸氏の御奮起を乞ふ次第であります。

次に此債務の徹底的整理の爲に會費未納者には此號發行直後集金郵便をかけますから本部當事者の苦衷を御諒察下さつて有効期間内に是非御拂込下さい。

尙前金切でない方でも本年未迄納つて居ない方には全部通知いたしますから御拂込下さい。

(注 意)

一ヶ月五拾錢の割で若し一ヶ年分前拂ならば五圓に割引する。

## 通 信

『星は滿洲の特産なり』と言ふ事を発見しました。

七月十三日

大連にて 山本 一清

# 通信

## ○岡山支部五月通信

1. 太陽の観測。五日坂本鑒四郎氏宅、九日山陽新報社、岡山高等女学校長宅。
2. 天體観測會。五日阪本氏宅、九日妹尾盛親氏宅、十六日岡山商業学校長野田一氏宅、岡山縣立第一中学校長宅。
3. 天界研究會。九日宮原幹事宅で開催。
4. 天文講演會。十三日午後一時から六高科学會の主催で、天文講演會が催され、下記の講演があつた。場所第六高等學校。
  1. 星 會員 奥田 毅氏
  1. 天文臺について 幹事 水野千里氏
  1. 太陽の表面に起る現象について 幹事 宮原 節氏
5. ラヂオで講演聴取。十日關西中學校備附のラヂオで山本博士の「太陽系の構造」をミカド理學會員が聴取した。



山本先生

「肉眼で見える星の研究」で先生の御主宰なされる天文同好會を知り早速にさ此六月より會員として戴きました信州の者で御座います御承知の如く私共の國は重疊たる山岳の國、孰れ向いても山又山で鼻付く許りの場處、所自慢で山紫水明の、環境が自ら剛毅の氣を養ふのさ申して居りますもの、箱庭的の山紫水明、人を容るゝことの出来ない自稱天狗式の氣宇、四海比隣の世の中、何等の人生に價値なきを痛感せずには居られないのであります

處が星座に親しむ様になりましてから人生の眺め方に就てまで非常に影響して参りました、人の世の中の餘りに見え透いた態に心のごん底迄飽き飽きした私には想像して見るさへも物凄さ迄に感ぜらるゝ、宇宙の廣大無邊地上の花などの及びもつかぬみ空の花の世界の嚴肅ささ奥床しさで胸一杯であります、近頃にしては友に送る一葉の葉書にさへもカシオペアアンドロメダ乃至は織女索牛の文字の入らない事はない程になりました。(米田恒)



山本先生！

昨夜は自根、福島、阿部の三君と共に會員近藤卷藏君の宅へ出掛けて行き、ラヂオにて始めて先生のお聲に接することの出来たこと

は誠に嬉しいことであります。遠い北國の一室にて電磁波の齎せる先生のお話が本當に嬉しくありました。レグルスのお話し等が面白くきかれました。丁度あの時分月はやはり札幌でも美しく輝いて居りました。

三月十四日アインシュタインがカルムの町へ生れた日であります。本年の此の日、福島君が始めて水星をみました。私も彼の手紙によつて十七日の夕ほれて始めて水星をみるこゝさが出来ました。コペルニカスのこゝさ等考へながら自分もまあ幸運であつたなあと思つたりして居ります。

九日間の試験も昨日で終りましたが、未だ製圖が二枚も残つて居りますから四月にならなければ呑氣な氣分にはなれません。四月には少し大きく會をしたいと思つて居ります。

三月二十五日夕札幌にて 米田勝彦



(上略)夕方の空に金星と木星とが美しくきらつて居るのをみるさ一日のつかればなくなります。家へ戻つて望遠鏡で星々をみるさ私心のほまるで浮きたつて太陽系からさびさりあの晴れた夜に空を取りかこむ銀河系へと想ひをよするのです。其れから進んではSpiral Nebulaeの島宇宙説まで進んで行くのです。然し遂に此の宇宙の有限が無限の問題にぶつかります。私には此の宇宙が有限ださしか考へられませんが先生の御説は如何でせうか。私の尊敬する科學者の一人としてポアンカレの名を知つて居ります。彼の著La Valeur de La ScienceのL'Astronomieの中に幾多の味ふべき言葉の存するのをみていつも愛讀して居ります。——米田勝彦



山本先生

田舎の夜の空は格別です。今夜も美しい黄道光が其の巨體を表はしてゐます。頂點はたしかにプレアデスを五度は突破してくゐます太陽の観測を三月の初めから繼續して居ります近い内に天界に何か書かして頂きます。

一小櫛孝次郎一



拜啓

先日は御いそがしいのに、御無理な御願ひ

をいたしまして、先生の御足をさぐめたことはまことにすみませんでした。

御かげで立派な講演会をすることが出来たので、一同大いに喜んでゐます。惜しいことに時間が少なかったたので、思ふ様に活動出来ませんでした。あの面白い講演もつと續けていたゞきかつたのです。

先生を御送りして、師範へ歸つて見ると、あの立派な四時を校庭に持ち出して、衝をわづか過ぎた土星を皆は覗いてゐました。當夜のシーイングは餘りよくありませんでしたが一般の人の心なうばふのに充分です。少しの二重星と、このリング・ネビュラやM13等をこれ等に見てゐないに餘り興味の持てたものでありませんが、驚異の眼を持つて見ました。

あの會合で會員もふへますし、一般の趣味も少しは喚起されるはずで。あの四時を中心にして支部を置かれるのも間もないことでせう。其際は改めて陣容をたてなほし、先生の面白い御講演を御願ひしたいと考へてゐます先は御禮まで 拜具

五月十九日

姫路 岡田幸雄

山本先生机下

## ◎恒星界の天文學

京都帝國大學教授理學博士 山本一清述

### 序論 星の觀察法と其の準備

- イ、天球の概念——天球、赤道座標、銀河座標、相對座標、諸種の運行
- ロ、星座と星名——星座の發達史、星の名星圖、星の目標、寫眞星圖
- ハ、天體運動の概念——ニウトン引力、諸種の軌道、モデルとしての太陽系
- ニ、天體の種類——遊星界、恒星界

### 第一講 星の光度と數

- イ、星の光度——光階、光度の觀測法、光度目錄
- ロ、星の數——星の數の數へ方、星の數の諸法測、星の分布

### 第二講 星の色とスペクトル

- イ、星の色——色階、色指數、觀測法
- ロ、星のスペクトル分類——セキ式、ハーグード式、新種、目錄
- ハ、星のスペクトルの研究法——星の化學分析、光力測定、視線運動の觀測

### 第三講 星の運動

- イ、固有運動——其の算出法、目錄

ロ、視線運動——研究法、絕對運動

### 第四講 二重星、多重星

- イ、二重星——分類と數、連星の運動、連星の軌道、三重星其他、目錄
- ロ、分光連星——觀測法、軌道、目錄

### 第五講 變光星

- イ、分類——光度曲線、分類
- ロ、蝕變星——分類、軌道、數
- ハ、セファイ星——現象、數、物理
- ニ、長週期星——
- ホ、新星——光度曲線、物理
- ヘ、子規則星

### 第六講 星團と星雲

- イ、分類——觀察法、分類法、目錄
- ロ、星團——散開星團、球狀星團、進行星群、數と分布
- ハ、星雲——ガス星雲、遊星形星雲、渦形星雲、數と分布

### 第七講 天體の距離

- イ、三角測量法——子午環法、測微法、ヘリオメーター法、寫眞法
- ロ、間接法——運動法、連星法、分光法

### 第八講 宇宙と其の構造

- イ、銀河——其の大きさ、構造
- ロ、銀河以外——マセラン雪、大宇宙、小宇宙
- ハ、天體と宇宙の進化

## 事務室より

六月中、同好會への寄附金の芳名を掲げる筈でしたが、紙面に餘裕がありませんので來月號にまわします。何さぞあしからず。

## 月の光

しづかにてらせる  
月のひかりの  
なごか絶間なく  
ものおもはする  
さやけきそのかけ  
こゑはなくとも  
みるひさの胸に  
忍び入るなり

—藤 村—